

# 労使研

「情報」第48号 2015年 8月

## 労使関係研究協会

〒105-0014 東京都港区芝2丁目  
20番12号(友愛会館8階)  
電話：03-3453-5386  
FAX：03-3451-1710  
HP：<http://roshiken.net/wp/>

## 関西支局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀  
1丁目6番3号  
(JAM西日本会館内)  
電話：06-6225-2881

## 2015年4月～8月労使研の活動

### (1) 労働講座の開催

#### ① 第14回労働講座

日時：2015年4月22日(水) 14:00～16:00

テーマ：「女性運動半世紀を振り返って」

講師：高島順子氏(元連合副事務局長)

参加者：39人

概要：1960年に就職、労組の青婦活動に参加、  
組織作りが中心。同盟に入って女性の  
組織作りから始めて、母性保護の運動

や国際婦人年、男女雇用機会均等法、育児休業法などに取り組む。連合では女性委員会を作り「男女平等参画促進」に取り組み、また国際活動にも携わった。女性の地位は向上したが、形を変えた差別はなくなる。女性の組織は運動を進めるうえで必要と思う。そして労組の外部の人との付き合いが大事である。



#### ② 第15回労働講座(関西)

日時：2015年5月28日(木) 14:00～16:00

テーマ：「二度の産別統合で得た体験」

講師：林司氏(UAゼンセン顧問、元大阪ガス  
労組委員長)

参加者：27人

概要：1996年全化同盟と一般同盟の統合によ  
ってCSG連合を結成。産別統合がまだ  
少なかった時代、この統合は大阪から本

部に提起して実現したもの。その動機は労働運動は力であること。力とは数であること。そして財政問題も大きな要因。2002年はゼンセン同盟と統合してUIゼンセン同盟に。この時も「数」という動機はあったが、両組織の考え方が同じであったことが大きく、共済やプロパーの問題等の違いを乗り越えて運動を進めている。



### ③ 第16回労働講座

日時：2015年6月16日（火）14：00～16：00

テーマ：「この道より我を生かす道なし！」

講師：服部光朗氏（元JAM会長、元連合副会長）

参加者：75人

概要：1962年に入社、63年に労組執行委員となり、文体部長、教宣部長、65年には書記長に就任。69年に委員長、初めて専従体制を敷く。委員長在籍6年で5回のストを決行、賃上げ・一時金の大幅アップを獲得。同時に経営民主化も進め、労使対等を確立した。ゼーゼル機器関連労協も作り、賃金平準化を目指し関連会社社長との会談も積極的に進めた。1972年からは全金同盟埼玉地方金属執行委員長となる。関連労協の経験をもとに平準化闘争を進める。最賃を強化、春闘も埼玉金属が主導、単組交渉を支援した。埼玉金属時代に行った事業は県民共済の創立、教育センターの建設、連合埼玉の結成。とくに相互扶助と人材教育は大事。連合埼玉以降の活動は次回。



## （2）講演会の開催

### ① 第75回講演会（歴史館と共催）

日時：2015年5月26日（火）14：00～16：00

テーマ：「安部磯雄と現代」

講師：梅澤昇平氏（元尚美学園大教授）

参加者：28人

概要：安部磯雄は統一基督教弘道会会長として鈴木文治の友愛会創立を支え、「日本労働運動の恩人」とされた人物。また、明治34年の社会民主党や大正15年の社会民衆党の創立を主導したことにより、「日本社会主義運動の父」とも知られている。

講演会には友愛労働歴史館関係者、労使関係研究協会関係者の他、安部磯雄ゆかりの方々など28人が出席。約1時間半にわたり、梅澤昇平氏の講演・報告を受け、意見交換を行った。

<講演次第>

- ① 安部磯雄の生涯
- ② キリスト者・安部磯雄
- ③ 社会主義の父
- ④ 日本野球の父
- ⑤ 評価と批判
- ⑥ むすび—安部と現代— “質素之生活、高遠之理想”

※労働講座、講演会の記録はDVDに収めています。ご希望があれば注文下さい。

## 「友愛会創立を記念する会」

### (1) 「友愛会創立を顕彰する報告会」

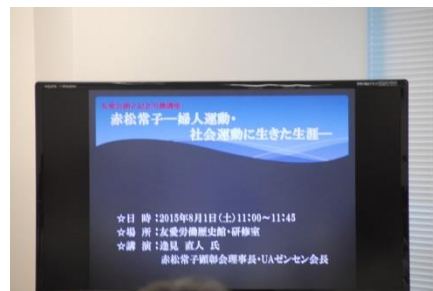
2015年8月1日(土) 11時

会場：友愛会館8階(友愛労働歴史館・研修室)

テーマ：「赤松常子・婦人解放運動に生きた生涯」

講師：逢見直人氏(UAゼンセン会長)

参加者：54人



### (2) 記念パーティー

2015年8月1日(土) 正午

会場：友愛会館9階「大会議室」

出席者：131人

1. 司会者挨拶 寺門事務局長(日産労連事務局長)
2. 物故者の紹介と黙祷
3. 主催者代表挨拶

「友愛会創立を記念する会」会長 服部光朗氏

4. 来賓挨拶

連合事務局長 神津里季生氏

民社協会会長 高木義明氏

政研フォーラム理事長 谷藤悦史氏

5. 乾杯

「友愛会創立を記念する会」副会長 高倉明氏(日産労連会長)

6. 祝宴



## 友愛労働歴史館便り

### 「鈴木文治ゆかりの地」ツアーに参加して

友愛労働歴史館 間宮悠紀雄



8月29日に行われた「鈴木文治ゆかりの地を訪ねる会」ツアーに参加してきました。これは「鈴木文治を顕彰する会（芳賀清明代表）」が主催したもので、友愛労働歴史館・日本労働会館も協力しました。

今回の「鈴木文治」ツアーは、9:20に仙台駅前に集合し、マイクロバスで大崎市古川の吉野作造記念館、栗原市金成の金成歴史民俗資料館、金成ハリストス正教会、鈴木文治生家、鈴木文治生誕記念碑を見学するもので、参加者は東京から6名、地元宮城から24名でした。



最初に訪問したのは大正デモクラシーの旗手として知られる吉野作造の記念館で、大川真館長から歓迎の挨拶と「鈴木文治と吉野作造の関係」などについての説明を受け、その後、参加者は館内を自由見学しました。

この後、昼食をとり、バスで栗原市金成に移動し、金成歴史民俗資料館を見学。ここは金成村の著名出身者を顕彰している施設で、栗原市教育委員会が管轄しています。先ず敷地内の鈴木文治胸像を見学し、次いで芳賀清明氏の「鈴木文治と友愛会」についてのミニ講演を受け、その後、資料館の中の鈴木文治コーナーなどを自由見学しました。



見学後、近くの金成ハリストス正教会（鈴木文治が少年時代に洗礼を受けた教会）に歩いて移動。ここでは執事長のイリヤ川股峰輝氏に教会内を案内していただき、管轄長で一関ハリストス正教会の司祭マルコ小池祐幸神父より、ハリストス正教会についての解説を受けました。

この後、バスで移動し、鈴木文治生家（生家の一部を移転したもので、現在も住居として使われている）、鈴木文治生誕記念碑（元首相・片山哲氏の揮毫）を見学し、全日程を終えました。



今回のツアーで訪問した鈴木文治ゆかりの場所は、広域に点在し、また金成ハリストス正教会のように通常、個人では見学できない施設もありました。しかし、マイクロバスを利用し、地元の芳賀清明氏が周到な準備されたお蔭で、短時間で効率よく回ることができました。参加者は17:00頃に仙台駅に帰着し、解散しました。

### 展示館情報

- ① 常設展「日本労働運動の100余年—友愛会・総同盟（戦前）を中心として」（通年展示）
- ② 開催中の企画展  
「赤松常子—婦人運動・社会運動に生きた生涯」2015年7月21日～2015年11月30日
- ③ 次回予定している企画展  
「全文教結成から50年、その今日的意義を探る」2015年12月7日～2016年5月31日